

発行/1部10円(購読料は組合費に 包含) 発行所/新潟県高等学校教職員組合 /新潟市中央区川岸町2-11-4 TEL(265)4151 FAX(231)1036 発行人/吉田 裕忠 速報 系		速報
		第92回定期大会 議案書のポイント
		2022年6月18日

2022年7月16日(土)に開催する第92回定期大会について、議案のポイントは以下の通りです。分会で行われる議案書オルグの際、議案書とあわせて持参ください。

○第1号議案(総括・情勢・方針)、第3号議案(当面のとりくみ)、スローガン

1. ゆたかな学びの保障(総括 p4-13 情勢 p24 方針 p26-28 当面 p32-33)

① 教員免許更新制廃止

- ・22.5.11「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案」可決・成立
- ・22.7.1 免許更新制廃止←日教組・日政連議員等と連携してとりくんできた成果、新たな研修制度に警戒必要

② 「教育のICT化」

- ・拙速な「教育のICT化」 教育の公平性、ICT化の功罪が十分議論されていない
- ICT機器の配備、SaGaSuプロジェクト、統合型校務支援システム等課題山積

③ 高校入試

- ・22.1.31「高校入試に関する緊急要請書」を提出(同日記者会見)
- 受検機会の確保・感染防止対策の両立、入試期間の長期化により在校生への指導時間がないなど課題あり

④ 教育課程編成

- ・「7限授業をなくし放課後時間を活用することで新指導要領の目的を実現しなければならない」(19年交渉)
- ・「7限授業を条件付きで認める」(20年交渉) ※県教委当初方針の後退
- ・22年度7限実施校8校(SSH指定校、中等教育学校、理数科展開校)

⑤ 教育研究活動

- ・新高教教研(21.10.23)3年ぶりに実施 テーマ:『教育のICT化』の問題点」「教育の機会均等の危機」
- ・日教組教研(22.1.28~1.30)第20分科会「高等教育・進路保障と労働教育」:山林満さん(高田安塚分校)

⑥ 「同和」教育のとりくみ

- ・4件の差別事件及び公正採用選考違反等に対応
- ・22.2.19 全県「同和」教育学習会実施(教職員意識調査、鳥取ループSNS部落差別裁判の課題提起)
- ・全人教大会「報告集発行をもって開催とする」21.12.9-10 県内報告による研究集会開催

⑦ 教育予算

- ・県予算全体に占める教育予算の歳出割合11.2%(全国46位:全国平均約19%)

⑧ 募集学級

- ・<22年度>中学卒業生数542人増7学級増(9増2減)43%(40校)が3学級以下
- ・<23年度>中学卒業生数442人減9学級減(1増10減)48%(44校)が3学級以下

⑨ 希望奨学金協会

- ・21年度希望奨学生79人採用(応募:58分会79人) ・奨学生の新規募集は21年度が最後

2. 労働条件の改善(総括 p14-18 情勢 p24 方針 p28-29 当面 p33-36)

① 秋年末確定闘争

- ・国、県ともに月例給改定なし、一時金引き下げ勧告 県当局提案も同様
- 厳しい交渉の末、一時金にかかる臨時削減率を圧縮(圧縮効果平均約2万円)

② 働き方改革

- ・「県立学校における教員の勤務時間の上限に関する方針」(19年12月県教委策定)
- ・運用検証実施(県教委)時間外・休日勤務の主な原因は部活動 「教員の意識改革」が必要
- 業務内容の精選と定数改善が必要不可欠!!

③ ストレスチェック

- ・総合健康リスクが最も高いのは実習教員(106) 校長(75)教頭(83)教諭(104)等(100が標準)
- ・高校所属で1校が130超(120超は5年連続) → 各校において結果の議論が大切!

④ 育児・介護等諸制度 権利行使等

- ・「育休は職場に迷惑をかける」「育児は年休対応」(県教委調査結果) → 少子化に拍車
- ・「早出遅出勤務制度」21.4.1から通年運用へ → 権利(休暇)を取得しやすい環境整備が必要
- ・育休取得者が異動する際の復職は「引き継ぎに必要な期間」でよいと確認

⑤ 人事評価制度

- ・査定昇給制度（柱立て）にかかる課題（免許更新廃止、行政職への出向については是正させた）
- ・勤勉手当「上位成績率」に所属毎5割の職員を推薦（※2回に1回は上位）

21年度人事評価「勤勉手当」
21年12月（上半期）
標準（0.925）上位（0.954）
22年6月（下半期）
標準（ ）上位（ ）

⑥ ハラスメント防止

- ・県教委ハラスメント防止指針（20年7月1日改正）
→ 管理職からのハラスメント含め本部へ相談相次ぐ
周知・徹底・対応、第三者機関における相談窓口設置、実態把握のための全教職員調査を求めている

⑦ 人事異動 高齢期雇用の現状

⑧ 遠距離通勤の増加、校務分掌継続無視の異動、臨時教職員配置偏り、再任用教職員配置、行政職出向など

- ・22年度より公的年金支給開始年齢が65歳へ（希望すれば5年目まで再任用される）
再任用：現職と同様の職務職責でありながら、賃金が低い、支給されない手当がある
- ・定年延長（23.4.1施行）23年度末退職者から定年延長（31年度末まで2年ごとに1歳繰り上げ）
働きやすい職場環境の構築へのとりくみ

⑧ 事務職員配置体制変更

- ・5校（小規模校：阿賀黎明・正徳館・松代・久比岐・羽茂）学校事務職員を近隣校との兼務配置に変更
→課題を集約し正常な学校運営を求める ※学級減が進めば、今後更なる体制の変更が予測される

⑨ 不当処分撤回等

- ・19.3.26 処分撤回不服審査請求組合員支援 人事委員会口頭審理開始（21年度3回、22年度4回）

⑩ 適正な人事配置

- ・年度途中で休職者に対する代替職員が配置されない 代替職員の未配置
→業務負担の増加に更なる拍車、職員の健康状態へ悪影響
- ・22.5.20 県教委確認 22年度初欠員 6人
→欠員が生じないことと休職者等への代替職員の早期、確実な配置

3. 護憲・平和、いのち・個人の尊厳（総括 p18-19 情勢 p23-24 方針 p30 当面 p36-37）

① 憲法改悪阻止

- ・7月参議院選挙 改憲勢力を3分の2割れさせるために、野党と市民の共闘を一層進化
新潟県選挙区：「森ゆうこ」 全国比例「古賀ちかげ」 ← 期日前含め確実な投票を！！

② ロシア軍のウクライナ侵攻に抗議

- ・各種該当行動へ参加

③ 原発再稼働阻止へ向けて

- ・「東京電力・柏崎刈羽原発の設置許可取り消しを求める署名」：40万筆（新高教846筆）
- ・「原発再稼働の是非を県民が決める署名」：9万8千筆（新高教904筆）

④ 高校生平和大使

- ・新潟中央高校小原陽奈さん 六日町高校曾根俊太郎（新潟で7代目（全国24代））
- ・長岡平和祈念式典 被ばくピアノコンサート（活動費用はカンパでまかなわれている）

4. 組織拡大・強化（総括 p19-22 情勢 p25 方針 p30-31 当面 p37-38）

① 組織の現状、課題

- ・22年3月末で組織率（ ）%（ ）人
- ・小規模校増により、分会員数が減少 → ⑧ 機関会議参加や分会口座等の取り扱い等
- ・月2回情宣紙を発行 → 交渉課題・成果、集会要請・報告など組合員への情報周知を迅速に
- ・ホームページを活用した情報発信

② 臨時採用者・再任用職員

- ・課題を集約し、県教委交渉を強化 とりくみ・情報を発信し組織化へ

○ 第2号議案（2022年度予算） ○ 第4号議案（選挙委員の選任）

○ 第5号議案（その他）

○ 希望奨学金協会第47回定期総代会

□ 参議院選挙新高教本部支援会 □ **投票に行きましょう**

6月22日公示 7月10日投開票

新高教推薦 新潟選挙区候補 「森ゆうこ」 全国比例日政連候補「古賀ちかげ」